

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025年

5月

7日

リエブラッツ枚方

利用児童数

回収数

5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	1		本人の様子と合わせて話してくれるので、分りやすかったです。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5			専門的な視点からアドバイスがもらえました。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4	1		本人の様子を見て、専門的な視点から回答してもらえました。	引き続き、課題やお困り事に対応していけるよう訪問支援員のスキル向上にも努めています。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	2		・学校での困りごとがあまりなかったです。 ・本人・親・支援者を大切して、アドバイスを下さるので、うまく解消しやすかったです。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	5			本人・親、支援者の調整をうまく行ってくだった。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
お互いにもう少しお話できる時間や共有できることがあればよかったなと思っています。 ①のご意見➡助言、説明が、具体的な文が入っていて、取りいれ方も分かりやすかった。学校現場では、本人の小6・中学校などの学習を考えると、本当に、その合理的配慮を行うことが「やり過ぎで、本人の力を伸ばすことや、これからの学習方法や学校生活などに良いのか」迷うところもあり、判断できず、行動に移せないこともあった。本人に学校（支援）が合わせていくのか、本人の力を高めて、学校のやり方に近付けていくのかの二択ではなく、その間をうまく調整して支援してあげるのがよいのだろうと思うのだけれども、昨年度は、できなかった。※今年度の担当に、よりよい方法を模索してもらい、本人にとってよい支援になったらと思う（引継ぎは、しました）。					「もっとお話しする時間や情報共有ができたよかった」とのお声をいただき、事業所も改めて振り返る機会となりました。今後は、より円滑な連携が図れるよう、訪問時の時間の使い方や情報の共有方法について工夫し、訪問先の先生方とお話しできる場を増やしていきたいと思います。 また、合理的配慮に関するご意見も、私達にとってとても大切な気づきとなりました。支援の方法について、「やり過ぎてしまうのではないか」「本人の力をどのように伸ばすべきか」といったご懸念は、学校現場でも悩まれる部分かと思います。事業所としても、支援のあり方を柔軟に考え、学校の方針や本人の成長に寄り添いながら、適切な調整ができるよう努めて参りたいと考えております。	